

## 「海外学習活動（アフリカ研究）」について

### <授業の目的>

関西学院大学は平成 26 年度文部科学省「スーパーグローバル大学創成支援」に採択され、今後 10 年間で、本学が掲げるスーパーグローバル大学構想「国際性豊かな学术交流の母港『グローバル・アカデミック・ポート』の構築」の実現を目指している。本プログラムで行われる社会経済調査、現地学生との交流を通じて、未だに多くの人々が絶対的な貧困に苦しむアフリカの持続可能な発展に貢献する人材の育成を目指している。今年度は世界最貧国家の 1 つでもあるマダガスカルへ渡航する。

### <履修可能要件>

- ・開発経済学を履修済みのこと
- ・中級レベルのミクロ経済学、計量経済学の知識を有すること。
- ・一定程度の統計ソフト（STATA）運用能力を有すること
- ・日常会話レベルでは全く支障の無いレベルでの会話が英語で可能なこと（2019 年 4 月時点で TOEIC600 点レベル以上）。
- ・栗田が担当する、中級開発経済学（金曜 4 限）、研究演習 I（金曜 5 限）とそのサブゼミ（金曜午後 7 時半以降）に必ず毎週参加すること
- ・文化や習慣の異なる未知なる他者へ敬意をもって接することが出来ること。
- ・協調性があり、また困難な状況下においても活動を継続する忍耐力や意志が備わっていること。

### <学習内容>

主に 3 つの期間に応じて、学習内容は異なる。渡航前は事前準備として、高度な開発経済学、計量経済学の手法をマスターすると共に、農村調査に必要な実践的な技能の習得を目指す。マダガスカル滞在中は、中央高地の村々をまわりデータの収集をおこなう。さらには現地の JICA 事務所や農業省などでのプレゼンテーションを英語で行う。渡航後は収集したデータを基にオリジナルな論文執筆を行い、論文報告会（JJ 政策フォーラム）での報告が義務づけられる。

#### I. 渡航前

1. 複数に渡るオリエンテーションや授業（中級開発経済学、研究演習 I（栗田）とそのサ

ブゼミ) 参加は必修。なお説明会には必ず参加し、その後の面談試験を受けること(参加しない学生には授業履修を認めない)

2. 計量経済学の手法について学習
3. 調査票の作成
4. 語学の習得(渡航前にはTOEIC 720点レベル)

#### 夏期休暇中の1ヶ月程度

1. マダガスカルでの社会経済調査
  2. JICA マダガスカルでの調査報告会
- 渡航中は毎日、活動日誌をメールにて提出する。

#### 渡航後

論文の提出、JJ 政策フォーラムでの報告

#### <費用>

航空券費用：おおよそ 20 万円程度(日本-マダガスカル往復)

ただし、集合場所はバンコクのスワンナプーム国際空港の予定

予防接種費用：7~8 万円程度(A 型肝炎、破傷風、狂犬病、チフス、黄熱病など)

保険費用：2~3 万円程度

滞在費用：10 万円程度(30 日分の宿泊費用と食費)

調査経費：5 万円程度(移動費用や通訳費用など)

その他諸経費：数万円程度

合計で 50 万円程度となる見込み